



平成 18 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ク セ ラ
代 表 社 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 岡 浩
(コード番号 6731 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 企 画 室 長 御 前 仁 志
(TEL 06-6633-3500)

株式会社 RfStream の子会社化に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の関連会社である株式会社 RfStream が発行する新株予約権を一部行使することを決議しましたので、お知らせいたします。なお、この結果、株式会社 RfStream は当社の子会社となる予定であります。

記

1. 株式取得の理由

株式会社 RfStream は、半導体集積回路の設計およびソフトウェアの開発設計を事業目的として、米国のシリコンチューナー開発ベンチャー企業である UKOM, Inc. の知的財産権を含む研究開発事業を継承し、平成 16 年 3 月に当社の 100% 出資子会社として設立されました。同社の設立時において完成製品はなかったものの、同社の設立趣旨および研究開発内容に賛同いただいた、富士通株式会社、株式会社日立メディアエレクトロニクス、株式会社エフエム東京ほか各社からの追加出資を受け現在に至っております。そして、近時、新型シリコンチューナー（TW-1000ST：超小型・超低消費電力、地上デジタル・アナログ両対応チューナー）を開発、量産を開始いたしております。

一方、当社は、創業以来、画像・音声圧縮伸長技術を中核の技術として AV 機器向け映像編集ソフトウェアやパソコンでテレビを見るためのテレビキャプチャーボードといった製品により事業を拡大してまいりました。特に、地上デジタル放送に対応するテレビキャプチャーボード製品においては先進的な技術を確認してまいりました。

今後において、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は、デジタル放送関連ビジネスでのさらなる事業拡大を目指してまいります。

このような下、デジタル放送関連技術の開発を加速させるためには、当社技術、株式会社 RfStream のシリコンチューナー開発技術、および先に子会社化した株式会社シンセシスの技術資産の有機的融合が不可欠であり、企業グループとしての連携をさらに強固なものとすることが理想的であるとの判断をいたしました。

以上の事由により、今回、株式会社 RfStream への追加出資を行なうことで出資比率を高め当社の子会社とすることといたしました。もって、当社グループは、グループの技術の融合から新たな付加価値を生み出すことで、業績拡大に努めてまいりたいと考えております。

2. (株)RfStream の概要

- (1) 商 号 株式会社 RfStream
 (2) 代 表 者 栗原 良和
 (3) 所 在 地 大阪市浪速区難波中 2 丁目 10 番 70 号
 (4) 設 立 年 月 日 平成 16 年 3 月 10 日
 (5) 主 な 事 業 の 内 容 半導体の製造販売、電子機器用部品の製造販売、
 電子機器システム設計、電子機器・半導体集積回路
 の設計及びソフトウェアの開発設計並びに製造販
 売、技術ライセンス及び特許契約仲介
 (6) 決 算 期 9 月 30 日
 (7) 従 業 員 数 6 名
 (8) 主 な 事 業 所 東京都品川区
 (9) 資 本 の 額 110 百万円
 (10) 発 行 済 株 式 総 数 4,200 株
 (11) 大株主構成および所有割合 当社 28.57%
 (12) 最近事業年度における業績の動向

	平成 16 年 9 月期	平成 17 年 9 月期
売上高	1 百万円	5 百万円
売上総利益	△0 百万円	△7 百万円
営業利益	△276 百万円	△492 百万円
経常利益	△279 百万円	△501 百万円
当期利益	△279 百万円	△502 百万円
総資産	741 百万円	934 百万円
株主資本	△69 百万円	△572 百万円

3. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 1,200 株 (所有割合 28.57%)
 (議決権の数 1,200 株)
 (2) 取 得 株 式 数 2,000 株 (取得価額 100 百万円)
 (議決権の数 2,000 株)
 (3) 移動後の所有株式数 3,200 株 (所有割合 51.61%)
 (議決権の数 3,200 株)

4. 日程

平成 18 年 3 月 31 日 取締役会決議
 平成 18 年 4 月 6 日 払込期日

5. 今後の見通し

本件株式取得により、株式会社 RfStream は当社の連結子会社となる予定であります。
 子会社化後の連結業績見通し (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想	10,201	43	△29
今回修正予想	10,236	△378	△452
増減額	35	△421	△423
増減率	0.3	—	—

なお、中間期 (平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日) の業績見通しにつ
 いては、この影響はございません。

以上